

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料3-2

令和2年12月16日

協議会名: 東郷町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダ系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
瀬戸自動車運送株式会社 南北コース左・右回り	いこまい館～日進駅～いこまい館	<p>・GTFS化のより一層の推進、利用促進及び利便性向上 →本町のホームページの「オープンデータTOGO」でGTFSデータを公表し、GTFS化のより一層の推進、利用促進及び利便性向上に努めた。</p> <p>・令和3年4月以降の公共交通網形成計画の更新及びバス路線再編に向けた公共交通ネットワークの構築 →令和3年4月の公共交通網形成計画の更新に向け、令和2年に各種調査を実施。また、令和2年9月開業のららぽーと愛知東郷に近接して整備したバスターミナルを本町の交通結節点とすべく、令和3年4月に予定するバスターミナルを発着とする路線再編の検討を進めた。</p> <p>・尾三地区が連携した広域的な公共交通ネットワークの構築 →尾三地区広域公共交通推進会議において、バスターミナルを活用した広域的な交通ネットワークの構築可能性について協議。</p>	A 遅延などによる運休はなく、事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <p>■令和2年度目標 ・目標利用者 48,000人</p> <p>■令和2年度実績 ・利用者 38,486人</p> <p>事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった。 令和2年2月までは全体的に前年度比で利用者数は増加傾向であった。3月より利用者が減少したことから、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたと考察する。総合的に減ったが、特に利用の多い高齢者の買い物・通院を目的とする利用が減少したと分析する。</p> <p>(参考)</p> <p>■輸送量に関するその他事項 ・運行回数 2,999回</p> <p>■収支率に関する事項 ・令和2年度収入額実績値 828,003円(補助金交付申請書より。)</p> <p>・令和2年度経常経費 15,834,256円(補助金交付申請書より。)</p> <p>・令和2年度収支率 <math>828,003円 \div 15,834,256円 = 0.05</math></p>	<p>今後も引き続き新型コロナウイルス感染症対策を行い安全性を確保しながら、町内外の人が多く訪れるららぽーと愛知東郷内に本町のテナントがあることから、そこにバスマップ等を設置し、バス利用促進の啓発に努める。</p> <p>令和3年4月からららぽーと愛知東郷に近接するバスターミナルをじゅんかい君全便発着点とするとともに、バスロケーションシステムや無料乗継券、新たな藤田医科大学病院へのバスを導入することで利便性の向上に努める。</p> <p>また、近隣市のコミュニティバスの乗入れの協議やバスターミナルを活用した、近隣市と連携した広域的な公共交通ネットワークについて検討していく。</p>